

計画事業番号	00341	事務事業名	芸術文化ホール設備修繕事業	担当部署	教育部文化課	電話	372-7667
--------	-------	-------	---------------	------	--------	----	----------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	-			
事務事業開始年度	平成25年度		個別計画等	北広島市教育基本計画2011-2020			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち						
	(第 7 節) 芸術文化の振興						
	(施策 1) 個性豊かな地域文化の振興						
2 対象	芸術文化ホールの舞台機構、照明・音響設備						
3 目的と内容	【事業概要】 文化施設の安全性や利便性などの機能維持を図るため、各機器等の耐用年数なども考慮しながら、保守点検等で不具合が確認された設備や箇所を計画的に修繕する。						
4 実施内容 (手 段)	28年度まで	袖幕カーテン交換、ワイヤーロープ部品交換					
	29年度	オペラカーテン、フレーム前幕交換					

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画	計画
オペラカーテン交換、幕開閉レール・ランナー修繕	オペラカーテン交換、幕開閉レール・ランナー修繕	オペラカーテン、フレーム前幕交換	(芸術文化ホール設備大規模改修工事調査設計委託—費用未定)	(芸術文化ホール設備大規模改修工事実施設計委託—費用未定)	(芸術文化ホール設備大規模改修工事実施設計委託—費用未定)

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		
1次評価	現状継続	現状継続とし、今後も施設の安全な運営を進めるため、計画的な修繕が必要である。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

「拡大」
「現状継続」
「要検討」
「見直し」
「統合」
「休止・廃止」
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
決算額、当初予算額又は推進計画額		12,852	11,772	10,044	0				
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0			
		道支出金	0	0	0	0			
		地方債	0	0	0	0			
		その他特財	9,600	0	0	0			
		一般財源	3,252	11,772	10,044	0			
	① 合計	12,852	11,772	10,044	0				
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00
	③ 1人当り年間平均人件費	9,000	4,500	9,000	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
	④ =②×③	900	0	900	0	840	0	0	0
総事業費①+④		13,752	12,672	10,884	0				

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①ホール設備修繕件数	件	1	1	1	1
		目標値				
		実績値	1			
	②	目標値				
	実績値					
③	目標値					
	実績値					
④	目標値					
	実績値					
成果指標	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
③	目標値					
	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	・芸術文化ホールは、舞台機構及び付帯設備に経年使用による影響が現われており、当該設備の機能維持を図る必要があり、安定した運営を行うため、計画的な修繕が必要である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	・経年使用による機能低下の影響が、年々大きくなるものと見込まれるが、設備ごとの耐用年数や定期点検の結果により、計画的な整備や修繕を進めていくことが必要である。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	・修繕事業の実施にあたっては、設備や交換部品の選択時には、安定した稼働のほか、環境面や省エネに配慮した内容で行うことが必要である。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	2	・施設の改修にあたり、新たに導入する機器に関して、効率性を重視した内容を配慮する。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。